

# 訪問看護ステーション体験・研修のご案内

～地域で安心して暮らし続けるために できることを共に考える～

大阪府訪問看護実践研修事業として、訪問看護サービスの向上を図ること、人生の最終段階の支援の普及啓発等を目的とし「教育ステーション」を設置し活動しています。地域包括ケアシステムを構築するためには、地域の医療・介護専門職が地域とつながり、療養者の尊厳ある生活を支援することが緊急の課題となっています。そのためには地域でのエンドオブライフケアが重要となり、専門性+援助的コミュニケーションは、それぞれの役割を果たすために役立つと考えています。援助的コミュニケーションを活用した訪問看護における支援の実際を見ていただくことで、地域における療養者の支援や訪問看護活用のヒントを持ち帰っていただき、共に学び育ちあえる関係づくり、地域づくりのきっかけになることを願っています。下記の期間、対象者誰もが、無料で利用可能です。ぜひご参加ください。

## 受け入れ期間 平成29年 8月～12月

対象者 病院や診療所、施設、訪問看護ステーションの看護師、相談員  
地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジャー  
研修期間 半日又は1日  
体験内容 在宅（生活の場）での訪問看護や多職種連携を見学  
対話し共に考えるカンファレンスの見学・参加

※ 申込用紙は大阪府訪問看護ステーション協会HPよりダウンロードも可能です。

## 地域包括ケアシステム



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング  
「<地域包括ケア研究会> 地域包括ケアシステム  
と地域マネジメント」

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるための地域包括ケアシステムの実現には本人の選択と本人・家族の心構えが重要で自己決定の支援が求められてれます。そのためには、地域の生活者として人生の物語を紡ぎ「どのようなケアを受けながらいかに過ごすのか」つながり“対話し共に考える”ことが大切です。そして、本人を支える家族や支援者の支援も大切です。地域の希望の場所で安心して暮らし続けるためにできることを一緒に考えましょう。

お問い合わせ

訪問看護ステーションたちばな 担当：丹後  
〒546-0014大阪市東住吉区鷹合3-2-66  
TEL:06-6606-7711 FAX:06-6606-7712